

第60回 全国学芸サイエンスコンクール

応募総数は過去最多の127,533点に

— 全国(海外含む)2,583校からの応募 —

教育出版の株式会社旺文社(東京都新宿区 代表取締役社長 生駒大壱)は、主催する「第60回 全国学芸サイエンスコンクール(呼称:がっこん)」の応募総数(作品数)、応募校数をまとめましたので、その結果をお知らせいたします。学コンは、小・中・高校生を対象に理科自由研究や絵画・書道など様々な作品を募集し、学術・科学・および文芸の振興を支援するコンクールです。

第60回となる今年度は、6月14日より作品募集を開始し、9月28日に応募を締め切りました。

なお、12月中旬に内閣大臣賞など入賞者発表を行う予定です。

■応募数の結果

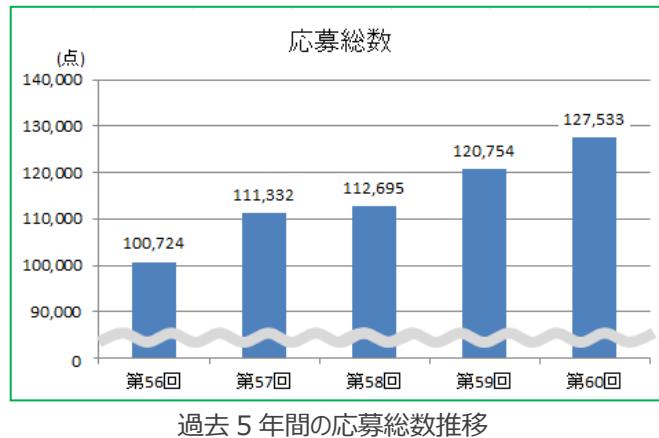
(1)応募総数

今年度の応募総数は **127,533点**となりました。

昨年度の120,754点と比べると約7,000点増となりました(約6%UP)。2年連続で応募総数が12万点を超え、今年度は13万点に迫る勢いです。サイエンスジャンルが新設された第56回(2011年度)に10万点を超えて以降、応募総数は順調に増えています。

特に今年度は、理科研究・人文社会科学研究・絵画・詩・読書感想文・写真部門への応募が増加しています。

また、地域別にみると関東・東海・関西地域からの応募が多い傾向で、応募数のトップ3は東京都、愛知県、千葉県となりました。



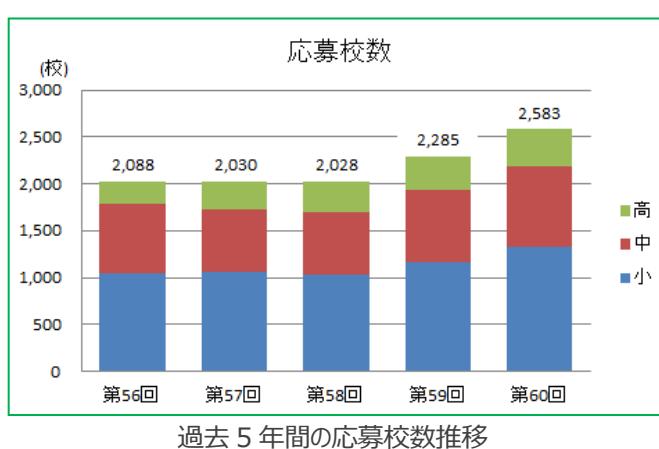
(2)応募校数

今年度の応募校数は小・中・高合せて **2,583校**となりました。

今年度は、昨年度に比べ約300校増加し(約13%UP)、2年連続で10%以上の伸び率です。

特に、小学校からの応募が170校増加しており、全国の学校数が減少する中でも伸びています。

また、アメリカ・ドイツ・タイ・シンガポールなどの18カ国、108校から応募をいただき、海外からの応募校数が昨年度の約3倍となりました(複数部門応募も1校とカウント)。



■今後のスケジュール

現在、各部門の選考委員による厳正な審査が行われており、12月中旬に入賞者発表を行う予定です。また、2017年3月10日(予定)には表彰式・受賞パーティーを開催いたします。

節目の60回を迎え、今後も多くの子どもたちに参加していただき、豊かな人間性や感性を育んでいきたいと考えております。

◆全国学芸サイエンスコンクール(学コン・がっこん)とは

全国学芸サイエンスコンクールは、青少年の学術・科学・および文芸の振興を目的として、1957年(昭和32年)に「全国学芸コンクール」としてスタートしました。以来、「学コン(呼称:がっこん)」の愛称で親しまれ、小・中・高校生の夏休みの創作活動や総合学習の一環として、また課外活動での学習成果の発表の場として多くの学校、生徒の皆さんにご参加いただいています。なお、1983年(昭和58年)の第27回からは現在の名称に変更しています。

募集部門は、時代の変遷と共に募集する分野が変わって来ましたが、今年の第60回では、サイエンス、アート、文芸、環境の4分野に全12部門を募集しました。

最優秀作品には内閣総理大臣賞・文部科学大臣賞・環境大臣賞などが授与されるほか、多くの賞が授与されます。

主 催：株式会社 旺文社

後 援：内閣府・文部科学省・環境省

特別協賛：フジテレビジョン・日本英語検定協会・大日本印刷・文化放送

HP：<http://gakkon.obunsha.co.jp/>

部 門：サイエンス分野 (理科自由研究、自然科学研究、社会科自由研究、人文社会科学研究)

アート分野 (絵画、書道)

文芸分野 (小説、詩、読書感想文、作文・小論文)

環境分野 (写真、ポスター・デザイン)



第60回 ポスター



第59回 表彰式



第59回 特別賞展示 (表彰式会場)

◆学コンキャラクター「ラピス」紹介

「ラピス」はスペイン語で「えんぴつ」の意味。鼻の部分が鉛筆になっています。

鉛筆は現在でも教育現場の多くで使用が奨励されており、大学入試センター試験の解答用紙にも使用されています。

そんな鉛筆(ラピス)は、生徒の学びや表現、創造のシンボルになってもらいたいと考え、2006年に全国学芸サイエンスコンクールのキャラクターに制定しています。なお、体の緑色は「健康」を現わし、夢を実現してゆく生徒をいつも応援しています。



「ラピス」

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社旺文社「全国学芸サイエンスコンクール事務局」 担当：阿部、山本

TEL:03-3266-8002 FAX:03-3266-6849 E-mail: gakkon@obunsha.co.jp